

行事名 大阪府立枚方高等学校 卒業式式辞
日時 令和三年二月二十六日（金）午前十時開式
場所 大阪府立枚方高等学校体育館

厳しい冬の寒さも日増しに和らぎ、校庭の木々にも春の訪れが感じられるこの佳き日に、大阪府立枚方高等学校 第五十六回 卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、本校教職員にとりまして何にもまして慶びとするところでもあります。

P T Aご代表並びに3年生保護者ご代表の皆様、また、ご来場いただけなかった保護者・ご家族の皆様方におかれましても、本校教育活動を見事にまっとうし、颯爽と巣立ちゆくお子様に感慨もひとしおのことと拝察し、お祝いを申し上げますとともに、ご入学以来、本校教育の推進に多大なるご理解、ご協力をいただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。本当に有難うございました。

さて、ただいま五十六期生、普通科235名、国際教養科78名に卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校入学以来三年間、それぞれが勉強に、学校行事に、部活動にしっかりと取り組み、大きく成長を遂げてくれました。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた高校生活となりましたが、その中であっても皆さんは、勉強に行事に部活動に積極的に向き合ってくれました。進路実現においては、それぞれがコツコツと受験勉強に取り組み、大学共通テスト出願者数が枚方高校史上最多となるなど、チャレンジ精神を発揮してくれています。行事においては、文化祭での、本校の伝統である3年生全クラス演劇を、厳しい条件の中やり遂げてくれたことに感動したのは私だけではなかったと思います。また、枚方市・株式会社リコージャパンとの連携企画「SDGs 課題研究」では、短い期間でしたが非常に大きな成果を上げ、全国紙などにも取り上げられました。部活動においても、制限された条件の中で多くの勝利をおさめ、また、様々な形で表彰されました。本当によく頑張ってくれました。卒業後も、それぞれの進路先において、3年間本校で得たものを存分に発揮し、活躍してくれることと信じています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は今も大きく、本校だけでなく、日本そして世界においても、まだしばらく続くかもしれません。病気としての怖さに加えて、経済的な損失も大きく、さらに、心理的なダメージを受けている人もおられます。そのような中において、医療関係の方々が献身的に対応してくださっている様子や大きな制限を受けている飲食業の方々が様々な工夫を行い、この苦境を乗り越えていこうとする報道、そして色々な企業や関係機関が連携・協力して、新たな取り組みを行っていこうとする報道があります。皆さんもそんなニュースを見たことがあると思いますが、辛い中、苦しい中、耐えながら、工夫し協力して困難に立ち向かっていくその姿に、人々のすばらしさや尊さを感じるとともに強く勇気づけられます。

新型コロナウイルス感染症はいずれ乗り越えられると思いますが、皆さんがこれから活躍する社会では、また新たな困難が発生するかもしれません。また、新たな困難がなくとも、皆さんがSDGsの探究で学んだように、この世界には2030年までに解決に向かうべき、17のゴールと169のターゲットがあります。皆さんには、まだまだやるべきことがあります。皆さんは「あー大変だな」と思いますか。「ワクワクする」と思いますか。是非「大変だけど、チャレンジする目標があるのでワクワクする」と思ってください。それが若さの特権だから、皆さんが社会に期待され、未来を担っていくことの証明だから、そして、皆さんにはその力があると信じているからです。皆さんの活躍を祈念しています。

最後になりましたが、これまで様々なご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、後援会の皆様、同窓会の皆様、保護者の皆様を始めご関係の皆様にご心よりお礼を申し上げ、大阪府立枚方高等学校第五十六回卒業式の式辞といたします

令和三年二月二十六日
大阪府立枚方高等学校
校長 小嶋 信男